

2026

# 令和8年度版 消防年報



大牟田市消防本部

<https://www.city.omuta.lg.jp/shoubou/>

# 大牟田市民憲章

制定 昭和57年7月21日

私たちは、三池山と有明の海に抱かれ、燃ゆる石のふるりに住む大牟田市民です。  
私たちは、みずからの責任において、互いに力を合わせ、未来にはばたく大牟田の町をきずくため、この憲章を定めます。

活気ある豊かな町にしましょう。

自然と調和したきれいな町にしましょう。

教育を重んじ、文化をはぐくむ、健やかな町にしましょう。

親切な、心あたたかい町にしましょう。

きまりを守り明るい町にしましょう。



## は し が き

この年報は、大牟田市における消防の現況と推移並びに令和7年中の消防行政に関する事項を集録し、将来の参考に資するために作成したものです。

消防関係者はもとより、あらゆる方面で広く御活用いただき、本市消防行政を御理解いただく一助となれば幸いです。

令和8年7月

大牟田市消防本部

# 目 次

## 総務（全般）

大牟田市の消防の沿革	1～10
消防庁舎の状況	11
組織機構	12
大牟田市消防本部・消防団配置状況	13～14

## 総務（人事）

歴代消防長・団長	15
歴代消防署長・殉職者	16
職員の年齢	17
教養研修状況・特殊技能資格取得状況	18
職員採用試験受験者数の推移	19

## 総務（予算・施設）

令和8年度費目別消防費当初予算（歳出）	20
消防通信	21
消防自動車の性能状況	22
消防車両配置状況・年度別車両拡充状況	23

## 消防団

消防団の組織概要	24
消防団災害覚知システム無線配置状況	25
令和8年度当初予算（歳出）	26
消防団員数推移	27
過去20年間消防団員数推移	27
令和7年度消防団員出場実績	28
分団格納庫一覧	29
消防機械配置並びに性能状況（団）	30

消防団員の職業構成表	31
消防団員の就業形態別状況表	32
年齢別消防団員表	33
年齢別階級別消防団員表	34
在職年数別消防団員表	35
消防団員資格一覧	36
消防団員表彰状況	37

## 予防関係

危険物施設数・危険物施設の推移	38
危険物施設に係る申請及び査察状況	39
完成検査前検査及び仮貯蔵取扱いの数	39
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱い届出数	39
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱い届出数	39
危険物の規制等に関する手数料（過去3年分）	39
防火対象物数及び防火管理者選任状況等調査	40
建築申請件数と内訳	41
高層建築物	42
各種届出状況・新規防火管理講習会実施状況	43
大牟田市防災協会連合会組織図（外部団体の現況）	44

## 火災関係

火災概要	45
火災件数の推移	47
火災件数及び損害状況	48
月別火災件数	49
時間別火災件数	50
原因別火災件数	51
気象状況	52
校区別消防水利	53

## 救急関係

月別・事故種別救急状況	54
救急出動状況の推移	55
小学校区別・救急隊別出動状況	56
時間帯別・事故種別出動状況	57
時間帯別出動件数	57
年齢区分別・事故種別搬送状況	58
年齢区分による搬送人員状況（推移）	58
曜日別・事故種別救急状況	59
傷病程度別・性別・事故種別搬送状況	60
救命救護出動状況（消防隊による救急活動支援）	60
急病にかかる疾病分類別搬送状況	61
応急手当普及啓発活動の実績	62
市民等による講習の実施状況	62

## 救助関係

救助活動状況	63
事故種別救助活動状況	64
月別事故種別出動・活動件数	65
消防隊活動状況	66

## 年報簡易版（大牟田市消防本部管内）

<p><b>面積</b></p>  <p>面積 81.45 km<sup>2</sup></p>	<p><b>人口・世帯数</b></p>  <p>人口 102,092 人 世帯数 54,510 世帯</p>	<p><b>予算</b></p>  <p>消防予算 15 億 2490 万円</p>
<p><b>消防職員数</b></p>  <p>男性 128 名 女性 5 名 合計 133 名</p>	<p><b>救急救命士数</b></p>  <p>救急救命士 31 人</p>	<p><b>消防団員数</b></p>  <p>消防団員 544 名</p>
<p><b>車両台数（ポンプ車等）</b></p>  <p>指揮車 1 台 タンク車 5 台 水槽車 1 台</p>	<p><b>車両台数（特殊車両等）</b></p>  <p>はしご車 1 台 救助工作車 1 台 化学車 1 台</p>	<p><b>車両台数（救急車）</b></p>  <p>救急車 5 台 予備車 1 台</p>
<p><b>火災件数</b></p>  <p>火災件数 54 件</p>	<p><b>出動件数（救急）</b></p>  <p>救急出動件数 7,306 件</p>	<p><b>出動件数（救助）</b></p>  <p>救助出動件数 109 件</p>
<p><b>防火対象物数</b></p>  <p>防火対象物数 4,208 棟 特定防火対象物 1,072 件 非特定防火対象物 3,136 件</p>	<p><b>危険物施設数</b></p>  <p>製造所 26 件 貯蔵所 424 件 取扱所 164 件</p>	<p><b>危険物の規制等に関する手数料</b></p>  <p>手数料 704 万 7050 円</p>

# 大牟田市の消防の沿革

本 部 ・ 署			団		
年	月	主 な 変 遷	年	月	主 な 変 遷
明治	27	2 消防組規則（勅令第15号）制定			
	//	4 大牟田町旧村別消防組結成（大牟田、横須、 稲荷、下里）			
	//	11 三川村、駛馬村消防組結成			
	35	3 三池町消防組結成 4部235名			
	37	4 大牟田町消防組結成消防統一 420名 （大牟田、横須、稲荷、下里）			
大正	元	10 三川村町制施行	大正	3	8 浜田町堤防決壊水害発生
	6	3 大牟田町市制施行、大牟田市消防組結成 11部、305名	昭和	4	4 三川町大牟田市に合併
昭和	5	1 大牟田市常備消防隊開設（冬季のみ夜間勤務 隊員11名、消防車1台）		8	5 大牟田市庁舎火災全焼
	//	9 大牟田市常備消防隊年間常時隔日勤務		9	9 大牟田市防護団結成11分団、5,000名
	8	7 分団詰所で三川出張所仮開設		12	11 大牟田市防護団改組、東、西、南、北 4分団、4,000名
	14	4 大牟田市常備消防隊隔日勤務15名、2台		13	4 駛馬村、町制施行
	16	4 三池町、駛馬町、銀水村、玉川村、大牟田市に合併		14	1 警防団令（勅令第20号）制定
	18	7 特設消防署規定改正		//	4 大牟田市警防団結成11分団、1,506名
	//	// 官設大牟田消防署仮開設		17	8 海岸堤防決壊大水害発生
	//	// 大牟田消防署開設（旧常備建物）署員31名		18	7 大牟田市警防団水上分団新設 （20分団）3,804名
	//	// 三川町出張所仮開設（11分団詰所）		//	// 三川町出張所仮開設（11分団詰所）
	19	4 駛馬派出所開設			
	//	7 通町、銀水、横須派出所開設		20	6 空襲により市街地焼失する
	//	9 大正町派出所開設			
	//	11 旭町出張所開設			
	//	// 上官町派出所開設		22	4 消防団令（勅令第185号）制定
	//	12 三川町出張所落成		//	10 大牟田市消防団結成 団員2,154名
	//	// 三池町派出所開設		//	12 消防組織法法律第226号公布
	20	6 本署新庁舎落成（浄真町）			
	//	7 駛馬、横須派出所爆撃により焼失			
	//	// 旭町、大正町出張所爆撃により焼失			
	//	8 久留米分駐隊派遣隊員54名 消防車5台			
	//	// 久留米分駐隊帰隊			
	23	3 消防組織法施行、自治体消防発足			
	//	// 自治体消防発足、本部署員103名			
	//	// 消防法施行			
	//	// 大牟田市消防本部、消防署設置条例制定公布			
昭和	23	7 高田村及び荒尾市と消防相互応援協定締結	昭和	23	8 官名改正、消防団令制定（政令59号）
				//	12 消防団設置規定

24	4	常設消防力基準の制定	24	9	水上分団廃止、分団名改正（学校名19分団）	
//	8	水防法の施行	//	12	都市等級調査（7級）	
//	12	職員定数変更（103名→107名）	25	2	消防団員服制制定	
25	4	消防吏員の服制制定				
26	2	火災予防条例準則告示				
//	7	南関町と消防相互応援協定締結				
27	2	明治町出張所を職員特別住宅として使用				
//	6	海上保安部長及び三池港長との消防業務協定締結				
//	7	国家消防庁を国家消防本部に改称				
28	4	消防賞じゅつ金条例制定	28	4	消防団条例制定19分団 42部 905人	
//	//	日出町出張所開設 望楼24m	29	1	県消防協会長表彰受賞（団）	
29	6	山川村と消防相互応援協定締結				
30	1	県知事表彰受賞				
//	9	上官町派出所を移設し勝立出張所開設	30	11	消防団員等公務災害補償共済基金法施行	
31	2	日本消防協会長表彰受賞				
//	3	消防専用中短波無線電話装置設置				
//	4	消防本署望楼新設 31m				
//	12	大牟田市工場防火協会大牟田市石油防災協会結成				
32	3	大牟田市任意救急隊発足（消防車による）	32	9	県操法大会優勝（自動車部）銀水6部	
//	11	大正町出張所開設				
33	8	職員定数変更（107名→108名）				
//	9	日本損害保険協会により消防自動車寄贈				
//	//	本署、日出町出張所に5馬力動力サイレン設置				
34	3	国家消防本部表彰旗受賞（署団）	34	3	国家消防本部表彰旗受賞（署団）	
//	4	国家消防本部に消防大学校設置				
//	6	都市等級調査（第2回） 5級				
//	7	消防長任命資格を定める政令施行				
//	9	危険物政令施行				
35	7	国家消防本部を消防庁と改称				
//	8	大牟田市危険物安全協会発足				
//	9	消防本部、署庁舎改築				
36	1	職員定数変更（108名→112名）	36	4	退職消防団員の報償実施	
//	4	消防法施行令、規則施行				
//	8	消防力基準制定				
37	3	スノーケル車購入配置	37	10	日本消防協会表彰受賞（水害）	
//	4	職員定数変更（112名→113名）	//	12	消防庁長官表彰受賞（署、団）	
//	5	消防吏員階級準則改定	38	3	建設大臣表彰受賞（水害）	
//	11	救急自動車購入配置	//	7	集中豪雨による大水害発生	
//	12	消防庁長官表彰受賞（署、団）	//	11	三井鉱山三川鉱爆発	
38	8	危険物一般防災協会発足				
39	1	職員定数変更（113名→121名）				
//	2	救急業務実施義務市町村政令指定				
//	4	救急業務実施義務政令指定	昭和	39	12	消防団員階級準則制定
昭和	39	消防水利基準制定				
40	10	大牟田市消火器検査協会発足	40	12	国鉄と西鉄入衝突事故	
41	8	工場防火協会と災害時消防協定成立				
//	12	消防用超短波無線電話機設置				

	42	7	液化石油ガス貯蔵又は取扱の届出義務	42	6	大浦・三塚山山林火災	
	//	10	筑後地区消防設備士会大牟田部会発足				
	43	3	液化石油ガス法施行				
	//	9	消防庁長官表彰受賞（署・団）	43	9	消防庁長官表彰受賞（署・団）	
	//	//	大牟田及び大牟田中央ライオンズクラブより 救急自動車寄贈				
	//	11	日本損害保険協会より消防自動車寄贈（水そう付）				
	46	2	化学消防車購入配置（一部寄贈）	45	12	消防団（上内分団3部）に初めて小型動力ポンプ付 積載車配置	
	47		ピーパーサイレン取付け				
	//	11	中央ライオンズクラブより広報車寄贈				
	//	12	消防署長公舎廃止				
	//	//	消防無線切替（県、市波）				
	48	2	銀水派出所廃止	48	4	条例定数758	
	//	5	高田町、山川町、及び瀬高町外2町消防組合と の消防応援協定締結				
	//	10	救助訓練開始（久留米市消防本部へ5名派遣）				
	//	12	三川町出張所改築開所				
	//	//	救急車購入				
	49	1	日出町出張所に救急車配置 救急隊2隊運用開始				
	//	2	トラッククレーン車による救助活動基準制定				
	//	3	東京海上火災保険K、Kより救助用器材寄贈				
	//	//	三池港流出油災害対策協議会発足				
	//	7	消防副士長制度採用				
	50	3	梯子付ポンプ自動車購入（32m級）				
	//	10	大牟田市危険物安全協会より小型広報車寄贈				
	51	2	消防本部（署）庁舎2階部分増築 （通信指令室仮眠室）				
	//	3	消防、救急指令装置（B型）設置				
	//	//	日本損害保険協会より救急車（2B型）寄贈				
	//	5	救助訓練塔（架設）設置				
	52	1	不知火公舎廃止				
	//	2	荒尾市、南関町、有明消防組合と新消防相互 応援協定締結				
	//	7	職員定数変更（121名→127名）				
	//	8	休日急患診療体制発足				
	//	11	中央ライオンズクラブより救助工作車寄贈				
	53	2	小型消防ポンプ自動車購入配置				
	//	//	救急用超短波無線電話装置の配置				
	54	1	北部出張所用地買収				
	//	3	三井コークス工業株式会社と災害防止協定成立				
	//	7	職員定数変更（127名→133名）				
	//	12	3B型救急車購入				
昭和	55	1	日本損害保険協会より水そう付消防ポンプ自動車 寄贈				
	//	2	CD- I 型消防ポンプ自動車購入				
	//	3	救急医療情報システム運用開始	昭和	55	3	ファクシミリ救急医療情報業務開始
	//	4	日出町出張所を廃止し吉野出張所開設				
	//	5	消防本部、消防署機構改革				
				//	6	中央ライオンズクラブより消防団指令車寄贈	

55	11	16m級屈折放水塔付消防ポンプ自動車（スクアート）購入（化学車廃止）			
56	1	三池港、大牟田港流出油災害対策協議会と名称、内容一部変更			
	//	2 本署改築（警防課事務室厨房他）			
	//	// 本部（署）物品倉庫新築			
	//	3 ガス洩れ爆発事故対策協定（電気、ガス事業者）			
	//	6 査察広報車購入	56	9	BS- I 型消防ポンプ自動車（団）購入
	//	11 2B型救急車購入			
57	2	防災行政無線運用開始	57	2	防災無線運用開始
	//	4 職員定数変更（133名→131名）			
	//	8 予防広報車購入	//	9	BS- I 型消防ポンプ自動車（団）購入
58	2	辻政則氏よりレサシベビー、被救助者用酸素呼吸器寄贈			
	//	3 本署自動車車庫、自転車置場新築	58	3	中友分団格納庫大正町出張所内より分離新築移転
	//	// 勝立出張所を馬渡町から新勝立町5丁目へ新築移転	//	9	BS- I 型消防ポンプ自動車購入
	//	10 職員特別住宅解体			
	//	// 指令車、資材搬送車購入			
	//	// 片山喜一氏より酸素呼吸器寄贈			
	//	// 三池公舎解体	59	1	有明鉦災害（高田町）
59	2	訓練塔（鉄筋コンクリート造5階建）を勝立出張所内に建築			
	//	5 本署望楼（31m）解体撤去			
60	4	通信指令装置（電子式）設置	60	8	台風13号
			61	3	笹林分団消防ポンプ自動車格納庫改築
			//	//	上内分団第2部、倉永分団第6部小型ポンプ格納庫改築
61	9	2B型救急車	62	3	明治分団消防ポンプ自動車格納庫改築
			//	//	玉川分団6部小型ポンプ格納庫改築
			63	2	大正分団消防ポンプ自動車（更新）
63	3	本部、本署（一部）改築（総務、予防課、3階講堂）			
	//	// 梯子車			
	//	4 大正町出張所を廃止し明治出張所を開設			
	//	5 特別救助隊発足	平成	元	2 川尻分団消防ポンプ自動車（更新）
平成	元	3 救助工作車Ⅱ型	//	9	団指令車（更新）
	//	11 防災指導車（新規）			
	//	12 2B型救急車（更新）			
平成	2	1 現場指揮車（新規）			
	//	// CD- I 型消防ポンプ自動車（更新）	平成	2	2 駛馬北分団消防ポンプ自動車（更新）
	//	6 物資搬送車（新規）			
	//	11 査察車（更新）	//	12	平原分団消防ポンプ自動車（更新）
3	1	水-Ⅱ型水槽付消防ポンプ自動車（更新）			
	//	4 大牟田市工場防火協会より人員搬送車寄贈	3	9	大型台風17号、19号来襲

	3	10	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車 寄贈				
	//	12	2B型救急車（更新）		3	12	手鎌分団3部小型ポンプ積載車（更新）
					//	//	玉川分団2部小型ポンプ積載車（更新）
					//	//	上官分団小型ポンプ積載車（軽新規）
					//	//	玉川分団5部小型ポンプ積載車（軽新規）
	4	2	水-II型水槽付消防ポンプ自動車（更新）		5	2	笹林分団 新機種CD-I（更新）
	//	7	火災原因調査車（更新）		//	3	銀水分団4部小型ポンプ積載車（軽新規）
	5	2	本署 CD-I型消防ポンプ自動車（更新）		//	//	駿馬南分団2部小型ポンプ積載車（軽新規）
					//	//	大牟田市コミュニティ消防センター（久福木新規）
	//	4	水難救助車（新規）				
	//	8	潜水隊発足		6	2	倉永分団3部小型ポンプ積載車（更新）
	6	1	緊急通報システム発足		//	//	上内分団3部小型ポンプ積載車（更新）
	//	2	本署 水-II型水槽付消防ポンプ自動車（更新）		//	3	手鎌分団2部小型ポンプ積載車（軽新規）
					//	//	三池分団2部小型ポンプ積載車（軽新規）
	//	6	大牟田市防災協会連合会発足		//	//	大牟田市コミュニティ消防センター（深浦新設）
					//	//	大牟田市コミュニティ消防センター（歴木新設）
	7	1	2B型救急車更新（本救）		//	9	団本部消防指令広報車（新規） （日本消防協会より寄贈）
	//	2	阪神淡路大震災出向		7	1	阪神・淡路大震災発生
	//	3	完全防護服購入		//	2	倉永分団第2部小型ポンプ積載車（新規）
					//	3	白川分団新機種CD-I（更新）
					//	//	大牟田市コミュニティ消防センター (駿馬北新設)
					//	//	倉永分団第2部拠点施設（新設）
	8	4	本部、本署改装（1階・通信機械室、2階・予防課、 総務課、通信指令室、仮眠室）				
	//	//	消防緊急通信指令施設II型運用開始				
	//	//	消防及び救急無線設備基地局更新				
	//	//	消防無線全国共通波導入				
	//	5	緊急通報専用ファクシミリ運用開始				
	9	2	2B型救急車：吉野（更新）				
	//	3	資材搬送車（更新）		9	3	上内分団1部小型ポンプ積載車（新規）
					//	//	大牟田市コミュニティ消防センター（四箇新設）
	//	4	消防署3部制本格実施（組織機構改定）				
	//	//	本署自動車車庫増築、中庭舗装				
	//	8	勝立救急隊（消防隊兼務）発足				
平成	9	11	2B型救急車 勝立（更新）				
	10	3	化学消防ポンプ自動車IV型（新規）	平成	10	3	指揮広報車（団指令車）（更新）
	//	4	大牟田市防災行政無線運用開始				
	//	//	携帯電話等による119分散受信開始 （柳川、瀬高消防管内含む）				
	11	3	救助工作車II型（更新）		11	3	明治分団新機種CD-I（更新）
	//	//	本署 高規格救急自動車（更新：2Bから高規格）		//	//	大牟田市コミュニティ消防センター（甘木新設）
					//	//	手鎌分団5部小型ポンプ積載車（新規）
	//	8	高規格救急自動車運用開始		//	8	銀水分団6部新機種CD-I（更新）
					//	12	女性消防団員入団（20名）
	12	4	勝立小隊救急兼務開始		12	9	中友分団新機種CD-I（更新）

				12	//	三川分団新機種CD- I (更新)
				13	5	不知火分団資機材搬送車 (更新)
14	1	消防OAシステム運用開始 (火災、救急、救助、職員、団員、備品、危険物、防火対象物)				
//	2	(水路管付) はしご付消防ポンプ自動車 (更新)				
//	3	消防本部ホームページ公開		14	3	玉川分団第2部拠点施設 (櫛野新設)
//	//	火災メールシステム運用開始		//	//	上内分団第5部格納庫 (岩本新設)
				//	11	銀水分団第5部 小型動力ポンプ付積載車 (軽) (新規)
				//	//	上内分団第5部 小型動力ポンプ付積載車 (軽) (新規)
				//	12	三里分団新機種CD- I (更新)
15	4	消防本部ホームページリニューアル 新キャラクター公開(だいじゃ君)		//	//	三池分団第1部新機種CD- I (更新)
//	8	吉野 高規格救急自動車 (更新: 2Bから高規格)				
16	1	本署 現場指揮車 (更新)		15	12	駿馬南分団拠点施設 (桜町新設)
//	12	勝立 高規格救急自動車 (更新: 2Bから高規格) 緊急消防援助隊登録車両 IP電話による119受信開始		16	4	条例定数700名
17	3	吉野 水- II型消防ポンプ自動車 (更新)		//	12	大正分団新機種CD- I (更新)
//	4	女性消防吏員採用				
//	11	携帯電話等による119直接受信開始		17	7	羽山台分団発足 (旧銀水分団第6部)
18	1	明治 水- II型消防ポンプ自動車 (更新) 緊急消防援助隊登録車両		//	//	笹林・不知火分団統合 (笹林分団へ)
19	1	勝立 CD- I 型消防ポンプ自動車 (更新) 消火泡圧縮空気混合装置付		//	//	駿馬南分団第1部・第2部統合 (第1部へ)
				//	11	玉川分団第2部・第3部統合 (第2部へ)
				19	3	吉野分団第2部 格納庫 (白銀新設)
				//	//	吉野分団第2部 消防ポンプ自動車配置 (三川分団より移管)
				//	//	手鎌分団第6部 格納庫 (手鎌新設)
				//	//	手鎌分団第6部 小型動力ポンプ付積載車 (軽) (新規)
				//	//	三川分団 小型動力ポンプ付積載車 (軽) (新規)
				//	4	吉野分団発足 (旧上内6部⇒吉野分団第1部) (旧銀水1部⇒吉野分団第2部) (旧倉永4,5部⇒吉野分団第3部)
平成	20	2	本部 防災指導車 (新規)	19	4	みなと分団発足 (旧三里分団⇒みなと分団第1部) (旧三川分団⇒みなと分団第2部)
//	3	本署 CD- I 型消防ポンプ自動車 (更新) 消火泡圧縮空気混合装置付		20	2	吉野分団第3部 小型動力ポンプ付積載車 (軽) (新規)
				//	//	倉永分団第1部 小型動力ポンプ付積載車 (軽) (新規)
				//	//	倉永分団第6部 小型動力ポンプ付積載車 (軽) (新規)
				//	//	手鎌分団第1部 小型動力ポンプ付積載車 (軽) (新規)
				//	//	駿馬南分団第4部 小型動力ポンプ付積載車 (軽) (新規)
				//	4	高取分団発足 (旧三池2部⇒高取分団第1部) (旧三池3部⇒高取分団第2部) (旧三池5部⇒高取分団第3部)

	20	6	消防緊急通信指令設備運用開始（更新） 携帯・IP電話位置情報通知システム導入 119FAX導入	20	5	高取分団第1部 CD- I（H5、登録）	
	21	3	本署 高規格救急自動車（更新）	//	12	川尻分団 CD- I（更新）	
				21	3	上内分団第4部 格納庫建設（新設）	
				//	//	吉野分団第1部 格納庫建設（新設）	
				//	//	上内分団第2部 小型動力ポンプ付積載車（軽）（新規）	
				//	//	上内分団第4部 小型動力ポンプ付積載車（軽）（新規）	
				//	//	吉野分団第2部 小型動力ポンプ付積載車（軽）（新規）	
				//	//	玉川分団第6部 小型動力ポンプ付積載車（軽）（新規）	
				//	//	高取分団第2部 小型動力ポンプ付積載車（軽）（新規）	
	//	4	三川出張所廃止、三川分団本署へ統合				
	//	//	明治救急隊（消防隊兼務）発足	21	4	女性分団発足	
	//	//	本署2分隊発足（本部業務兼務）				
	//	//	指揮隊3名体制				
	22	3	明治 救助工作車Ⅱ型（更新）	22	1	駿馬北分団 CD- I（更新）	
	//	//	明治 消防車両車庫新築	//	3	玉川分団第1部 小型動力ポンプ付積載車（軽）（新規）	
				//	//	銀水分団第1部 小型動力ポンプ付積載車（軽）（新規）	
				//	//	三池分団第2部 小型動力ポンプ付積載車（軽）（新規）	
				//	//	三池分団第2部 格納庫建設（新設）	
				//	4	天領分団発足（川尻分団から名称変更）	
	//	5	明治 高規格救急自動車（更新）				
	//	9	大林孚雄氏より高規格救急自動車（勝立）寄贈	//	9	第21回福岡県消防操法大会 自動車の部 第3位	
	23	2	本部 物資搬送車（更新）	23	2	平原分団 CD- I（更新）	
	//	3	東日本大震災 緊急消防援助隊 消火部隊1隊出向	//	3	東日本大震災 発生	
	//	//	本部 市民広報査察車（更新）				
	//	4	三池初市実行委員会より防火教育普及資機材寄贈	//	4	天領分団仮格納庫へ移転	
	//	11	大牟田不知火ライオンズクラブより消防防災活動車（軽ワゴン）寄贈				
				//	12	消防団条例改正	
				24	2	上官分団 小型動力ポンプ付積載車（軽）（更新） (日本損保協会より寄贈)	
				//	3	駿馬南分団第1部 小型動力ポンプ付積載車（軽）（更新）	
				//	//	玉川分団第3部 小型動力ポンプ付積載車（軽）（更新）	
				//	//	手鎌分団第3部 小型動力ポンプ付積載車（普）（更新）	
				//	//	玉川分団第2部 小型動力ポンプ付積載車（普）（更新）	
				//	//	消防団ホームページリニューアル	
	24	4	筑後地域消防通信指令事務協議会設置	//	4	機能別団員制度発足	
	//	7	平成24年7月九州北部豪雨 活動支援隊1隊出向	//	6	消防団出場計画改正	
平成	24	12	友永正明氏より高規格救急自動車（吉野）寄贈	平成	24	9	第22回消防操法大会 可搬の部出場
	25	1	本署 化学消防ポンプ自動車Ⅳ型（更新）				
				25	4	総務・予防・警防委員会発足	
				//	9	第1回女性操法大会出場	
				//	//	女性分団 指揮広報車（更新）	
				//	//	天領分団格納庫完成、供用開始（新設）	
				//	11	倉永第3部 小型動力ポンプ付積載車（軽）（更新）	
				//	12	笹林分団 CD- I（更新）	
				//	//	消防団広報紙発行（創刊号）	
	26	3	本部 司令車（更新）	26	3	手鎌第2部 消防ポンプ車（軽）（更新） (総務省消防庁から無償貸与)	
	//	//	新消防庁舎（庁舎棟）完成、供用開始	//	//	携帯型デジタル簡易無線配置（分団長以上） (総務省消防庁から無償貸与)	

			26	4	消防団協力事業所表示制度発足
			//	6	消防団広報紙発行（第2号）
			//	8	女性分団車（新規）※指揮広報車を団本部付に変更
			//	9	携帯型デジタル簡易無線配置（副分団長）
			//	//	第23回消防操法大会 自動車の部出場
26	11	新消防庁舎（車庫棟）完成、供用開始	//	11	倉永第2部 小型動力ポンプ付積載車（普）（更新）
//	//	本署 水難救助車（更新）	//	12	白川分団 CD-I（更新）
			//	//	消防団条例を改正し、市内に在学する学生の入団を許可
			//	//	消防団広報紙発行（第3号）
			27	4	女性副団長登用
			//	//	方面隊発足
			//	5	警笛配布（全団員）
27	6	本署 はしご付消防自動車（更新）	//	6	消防団広報紙発行（第4号）
				9	女性や若者をはじめとした消防団 加入促進モデル事業（国委託事業）実施 （委託期間H27.9～H28.2）
//	11	本署 人員搬送車（更新）	//	12	消防団広報紙発行（第5号）
//	//	中島利男氏より高規格救急自動車（明治）寄贈	28	3	消防庁長官表彰（地域活動表彰）
//	//	筑後地域消防指令センター（仮）運用開始（大牟田市）	//	//	消防団向け災害覚知システム運用開始
//	//	明治救急隊（専任）発足	//	//	携帯型デジタル簡易無線配置（部長以上）
			//	//	デジタル簡易無線配置（車両、格納庫、出張所等）
			//	//	平原分団格納庫完成、供用開始（新築）
28	4	筑後地域消防指令センター運用開始	//	4	大牟田中央分団発足（旧笹林（1部）、旧上官（2部））
//	//	平成28年熊本地震 緊急消防援助隊出向	//	//	熊本地震発生
			//	5	消防団広報紙発行（第6号）
			//	6	女性や若者をはじめとした消防団 加入促進支援事業（国委託事業）実施 （委託期間H28.6～H29.2）
//	10	寄付金（市民）により高規格救急自動車（本署）更新	//	11	消防団広報紙発行（第7号）
			29	3	総務省消防庁長官竿頭授与（署・団）
			//	4	天の原分団設立（新設）
			//	5	消防団広報紙発行（第8号）
29	6	福岡県嘉麻市産業廃棄物火災 福岡県消防相互応援協定1隊出向	//	6	女性や若者をはじめとした消防団 加入促進支援事業（国委託事業）実施 （委託期間H29.6～H30.2）
//	7	平成29年7月九州北部豪雨 福岡県消防相互応援協定1隊出向	//	12	防災学習・災害活動車（分団本部車） 公益財団法人日本消防協会より寄贈
			30	2	羽山台分団格納庫完成、供用開始（新築）
30	3	本署1分隊 水-II型消防ポンプ自動車（更新） 緊急消防援助隊登録車両	//	3	消防団広報紙発行（第9号）
			//	4	駛馬分団発足 （旧駛馬南1部、2部（3部）、旧駛馬北（2部））
//	6	筑後地域消防指令センター 119番通報等における多言語通訳導入	//	7	消防団応援の店事業開始
//	7	平成30年7月豪雨（広島市） 緊急消防援助隊出向	//	//	方面隊改正
			//	//	企業・大学等との連携による女性・若者等の消防団 加入促進支援事業（国委託事業）実施（一次） （委託期間H30.7～H31.2）
			30	9	消防団広報紙発行（第10号）
			//	//	企業・大学等との連携による女性・若者等の消防団

					加入促進支援事業（国委託事業）実施（二次） （委託期間H30.7～H31.2）
	30	11	本部庁舎シャッターへ広報画像投影開始	30	11 学生分団発足（機能別分団）
				//	// 銀水分団第1部格納庫土地（125㎡）無償寄贈
	31	1	吉野 高規格救急自動車（更新）	31	2 明治分団 CD- I（更新）
		//	本署 指揮車（更新）	//	// 消防団広報紙発行（第11号）
				//	3 手鎌第5部 小型動力ポンプ付積載車（普）（更新）
				//	// 消防団向けアプリ「め組」4市町で運用開始 （大牟田市、みやま市、荒尾市、南関町）
				//	4 天の原分団格納庫完成、供用開始（新築）
令和	元	6	明治 水- II型消防ポンプ自動車（更新）	令和	元 7 学生分団発足式（55名）
				//	// 自動車安全運転センター安全運転中央研修所へ団員派遣
	//	9	寄付金（市民）により高規格救急自動車（勝立）更新	//	9 企業・大学等との連携による女性・若者等の消防団 加入促進支援事業（国委託事業）実施 （委託期間R1.6～R2.2）
				//	10 消防団広報紙発行（第12号）
	//	11	本部庁舎壁面へ広報画像投影開始	//	12 ヘッドライト配布（各車両2個）
				2	2 消防団広報紙発行（第13号）
	2	3	本部 司令車（更新）	//	3 羽山台分団 CD- I（更新）
				//	// 総務大臣感謝状授与（団員数増加によるもの）
	//	4	消防本部機構改革 警防課を消防署から消防本部へ配置変更 消防署隊名変更（大隊・中隊・小隊へ） 総務課係名変更（庶務係から人事企画係へ） （管理係から財務管理係へ）		
	//	6	大牟田市消防応援基金条例を制定	//	6 大牟田市消防操法大会優勝旗の寄贈を受ける （堺 藏次氏、黒田 洋氏より）
	//	//	吉野 水- II型消防ポンプ自動車（更新） 緊急消防援助隊登録車両	//	// 救命胸衣配備（各車両2着）
	//	7	令和2年7月豪雨（葦北郡芦北町） 緊急消防援助隊出向		
	//	//	オンラインによる査察・相談業務開始	//	9 企業・大学等との連携による女性・若者等の消防団 加入促進支援事業（国委託事業）実施
	3	3	明治 高規格救急自動車（更新）	3	3 中友分団、吉野分団第2部 CD- I（更新）
	//	//	勝立 CD- I 型消防ポンプ自動車（更新）	//	// 防災功労者消防庁長官表彰受賞 （令和2年7月豪雨によるもの）
	//	//	本署 資機材搬送車（更新）	//	// 消防団広報紙発行（第14号）
	//	//	本部 公式PR動画公開開始	//	5 消防団用折り畳みボート配備（13艘）
	//	5	本部 ドローン・IP無線機購入 運用開始	//	5 みなと分団第1部 CD- I（更新）
				//	7 みなと分団第2部 小型ポンプ普通積載車（更新）
				//	9 防災功労者内閣総理大臣表彰受賞 （令和2年7月豪雨によるもの）
				//	11 企業・大学等との連携による女性・若者等の消防団 加入促進支援事業（国委託事業）実施
				//	12 消防団広報紙発行（第15号）
	4	3	本署 小型動力ポンプ付水槽車（II型）（新規）	4	3 新型防火衣・防火帽の配備
				//	4 消防団広報誌発行（第16号）
				//	9 ヘッドライト配布（各車両乗車定数分）
				//	// 福岡県消防操法大会小型ポンプの部 4位入賞（優良賞）
				//	12 消防団広報誌発行（第17号）
	5	1	本部庁舎Wi-Fi環境整備 （大牟田中央ライオンズクラブ寄贈）		
		4	職員定数変更（131名→140名）		
	//	//	宿日直制の導入		

		// 消防本部機構改革 救急救助係名変更（消防企画係、救急指導係へ）	5	6	三池分団第1部車両更新（CD-1）（更新）
	5	第49回福岡県消防救助技術指導会 ロープブリッジ渡過 優勝（全国大会初出場）		//	福岡県消防団加入促進強化事業（年度中実施）
	7	令和5年7月豪雨（久留米市田主丸町竹野） 福岡県相互応援協定1隊出向		10	第18号しょう太くんだより発行
	8	第51回全国消防救助技術大会出場		11	ドローン機動部隊発足（消防団の力向上モデル事業）
	11	救急資器材管理供給業務委託（SPD）の本格運用開始		12	高輝度ハンドライト48個配備（コミュニティ助成事業）
6	3	本部 警防支援車（更新）	6	2	消防団入団体験会実施（県合同事業）
	//	本部 広報車（更新）		//	銀水分団第1部格納庫移転新築（土地は無償譲渡）
	//	3.11大規模災害対応訓練		4	総務大臣表彰「消防団地域貢献表彰」受賞
	4	総務大臣表彰「消防団地域貢献表彰」受賞		//	第19号しょう太くんだより発行
	7	公式インスタグラム フォロワー3万人達成		10	団指令車、天の原分団車（普通積載車）更新
	10	寄付金（市民）により高規格救急自動車（本署）更新		12	延岡市消防団学生団員と学生分団との合同研修会
7	2	LoGoフォームコンテスト開催	7	1	第20号しょう太くんだより発行
	3	オンライン採用説明会開始		3	ハラスメント講習会実施
	//	本部 物資搬送車（更新）		7	第21号しょう太くんだより発行
	//	本部 防災活動車（更新）		8	消防団等充実強化アドバイザーによる研修実施
	4	高度救急小隊発足			
	4	緊急消防援助隊出動手当の支給開始			
	12	本部 査察車（更新）			
8	2	本署 救助工作車Ⅱ型（更新）	8	2	第22号しょう太くんだより発行
	3	寄付金（市民）により高規格救急自動車（吉野）更新		3	大正分団車（CD-1）更新
	3	明治 高規格救急自動車（更新）		4	学生機能別団員 導入
	4	潜水作業手当・救急業務手当の支給開始			